

組織とイノベーション		鳥取部 真己	
-------------------	--	---------------	--

配当年次	1 年次	配当学期	1 学期	科目区分	ベーシック
単位数	2 単位	必修・選択	必修	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	◎	組織マネジメントの実践に必要な基礎的知識を修得する。
	実践知識		
技能	分析解決技能	○	組織での人間行動を分析するための基礎的リテラシーを習得する。
	実務技能		
	新規事業技能		
態度	倫理観態度		
	企業変革態度	○	イノベーターとしてのリーダーシップのあり方を理解する。
	地域リーダー態度	○	リーダーシップの理論的な枠組みを修得する。
	国際協調態度		

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

組織とイノベーション

授業の概要

本講義では、組織とイノベーションにまつわる理論・枠組みを学ぶ。コースの前半ではミクロ組織論を中心とした理論基盤の学習を行う。特に、ミクロ組織分析については、統計的な分析手法の基礎を実習する。コース後半では、マクロ組織論と、企業の変革や新商品創出にまつわるイノベーション・マネジメントについての学習を行う。各講義回では、ミニ・ケースや雑誌・新聞記事を読み、あるいは映像を見て事例分析やケース・ディスカッションを行い、基礎的な諸理論の理解と実践力の向上を図る。
本講義の到達目標は、組織マネジメントとイノベーション・マネジメントを実践するうえでの基礎的な知識を習得することである。

教科書

適宜、資料を配布するが、ロビンズ『組織行動のマネジメント(新版)』を教科書に準じた参考書として扱う。なお、ケース教材を用いる場合、そのケース代金(1冊千数百円)が追加的に必要になる場合があるので注意されたい。

参考書

- ・ロビンズ著、高木晴夫監訳『組織行動のマネジメント(新版)』ダイヤモンド社、2009年。
- ・金井壽宏『経営組織』日経文庫、1999年。
- ・金井壽宏『リーダーシップ入門』日経文庫、2005年。
- ・沼上幹『組織デザイン』日経文庫、2004。
- ・延岡健太郎『MOT“技術経営”入門』日本経済新聞社、2006年。
- ・近能善範・高井文子『イノベーション・マネジメント』新世社、2011年。

授業計画・内容

- 1回 イントロダクション【経営学、組織行動論】
- 2回 個人と集団(1)【合理的な意思決定】
- 3回 個人と集団(2)【公正性】
- 4回 個人の特性(1)【性格特性、Big5】
- 5回 個人の特性(2)【適性検査】
- 6回 モチベーション(1)【モチベーション、欲求階層説】
- 7回 モチベーション(2)【期待理論、目標設定理論】
- 8回 リーダーシップ(1)【リーダーシップ、基本二次元】
- 9回 リーダーシップ(2)【チーム】
- 10回 イノベーション・マネジメント(1)【組織能力、コア技術】
- 11回 イノベーション・マネジメント(2)【創造性】
- 12回 マクロ組織(1)【機能別組織、事業部制】
- 13回 マクロ組織(2)【企業文化】
- 14回 リーダーシップ(3)【変革型リーダーシップ】
- 15回 組織のイノベーション【組織変革】

成績評価の方法 発言など授業への寄与度 40%、小レポート 20%、期末レポート 40%

事前・事後学習の内容 毎回、事前学習教材と問いを指定し、事前学習向けに参考図書の章を指定するので、それらに対する事前学習をしっかりと行うこと。また、講義で理解が進まなかった点について復習を行うことに加えて、発展学習として指定した書籍・論文などを閲覧し、理解をさらに深めることが期待される。

履修上の注意 毎回の事前・事後学習をしっかりと行ってほしい。

担当者からのメッセージ

キーワード